



K中通信

学校だより 1号
令和4年4月8日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

新年度を迎えて

校長 佐藤 由利

今年の春はいつもより少し雨や風の日が続きましたが、7日の始業式・入学式は、やわらかな日差しの中、桜の花や新緑の葉と共に新年度スタートをきることができました。

始業式では、2,3年生一人ひとりがきちんとこちらの目を見ながら話を聞く姿勢がすばらしく、新学年に向けての新たな決意が伝わってくるようでした。午後からの入学式では、「新入生紹介」の場面で、起立して振り返り、担任から名前を呼ばれたら礼をする、という所作を68名全員がしっかりできていたことに感心しました。それほど難しいことではありませんが、説明を聞く力、周りの動きにあわせようとする意識が全員になければできないことです。在校生、新入生ともに、今年度どんな風に成長する姿を見せてくれるか、とても楽しみです。

今年度、軽井沢中学校は新入生68名を迎え、全校生徒255名、教職員は非常勤講師等も含め、32名でのスタートとなりました。未だ安心できない状況の中、コロナ禍における3度目の春を迎えることとなりましたが、今年度はこれまで以上に「この状況の中で何ができるか」ということを考え、工夫しながら、教職員一丸となって生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう、力を尽くしてまいります。

保護者の皆さまや地域の皆さまには、昨年度もなかなか生徒たちの学校での活動をご覧いただく機会が設けられずに終わってしまい、大変心苦しく思っております。そのような中で、状況をご理解いただき、いつもさまざまな場面で生徒たちを温かく見守っていただき本当にありがとうございます。令和4年度も、引き続き本校の教育活動に御理解と御支援をいただけますようお願い申し上げます。

「百折不撓」の精神で

副校長 高橋 直克

4月より副校長として着任いたしました 高橋 直克 (たかはし なおかつ) と申します。60年あまりの伝統をもつ本校の副校長となったことに、身の引き締まる思いがしております。これからよろしく願いいたします。

前任の田中副校長から、本校が地域の方々に支えられている学校であること、しかしながらコロナ禍のため学校行事や地域行事等の中止や規模縮小が続いていること、その結果として保護者や地域の方々と学校との関わりが減っていることが残念でならないとの話を聞きました。

感染症拡大防止のための制約はまだ続きそうですが、このような時こそ、本校の教育目標にある「主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成」の実現が重要だと感じています。

新しい時代に向かう生徒たちの挑戦を支えられる学校づくりを目指し、「百折不撓(ひやくせつふとう)」の精神で頑張ってまいります。

